

2025.11.13.港湾物流のGXに向けた国内外の動向

新しい計画のカタチ： 港湾脱炭素化推進計画



名古屋工業大学大学院工学研究科
教授 秀島栄三

2050年ゴールの意味・意義

2020年菅首相「2050年にカーボンニュートラルを達成する」

2021 カーボンニュートラルポート形成計画

2022 港湾脱炭素化推進計画

- ・2030年：中間目標 2050年：最終目標
- ・バックキャスティング
- ・未完成の技術も適用する
- ・定量的である

自治体による総合計画、都市計画マスタープラン：20年程度

欧州の港湾脱炭素化の動向

世界交通学会港湾部会(WCTR SIG2)

2025年5月7-9日 ベルギー国 アントワープ市

・カーボンニュートラルで多数の発表セッション

Eizo Hideshima and Kimitaka Kakita: Impact of decarbonization promotion plan on land use in port area

コーヒーブレイクなどの意見交換

欧州も苦悩している



欧洲の港湾脱炭素化の動向

世界交通学会港湾部会(WCTR SIG2)

2025年5月7-9日 ベルギー国 アントワープ市

主催者説明

～ロッテルダム～ハンブルグ

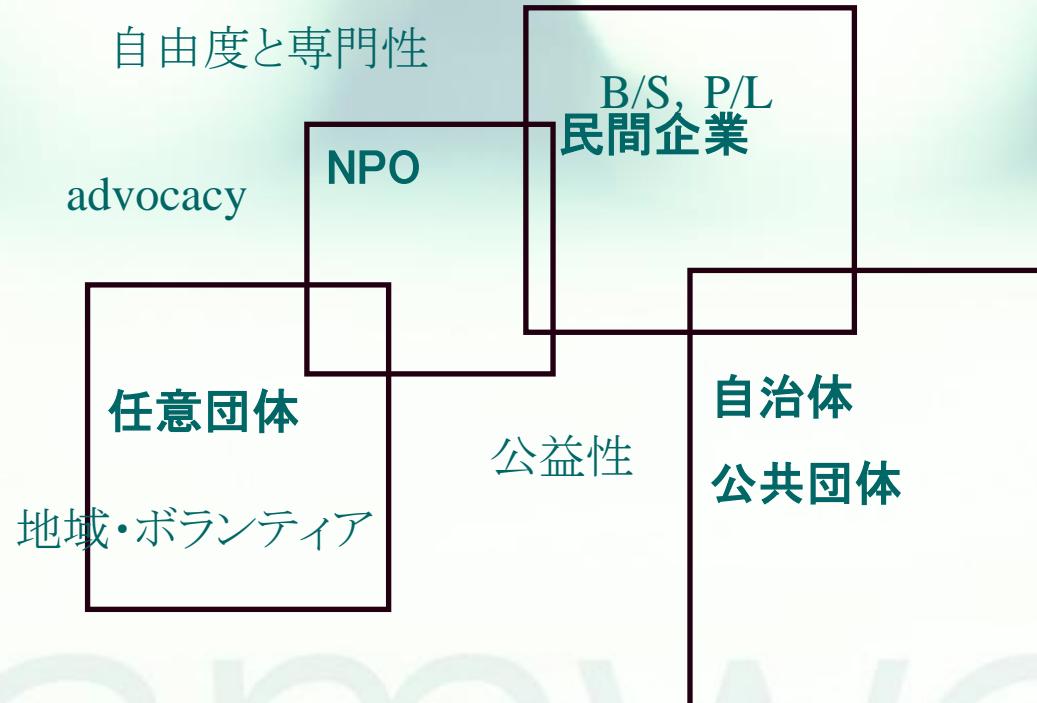
船上視察

民間による整備



産官連携の力タチ

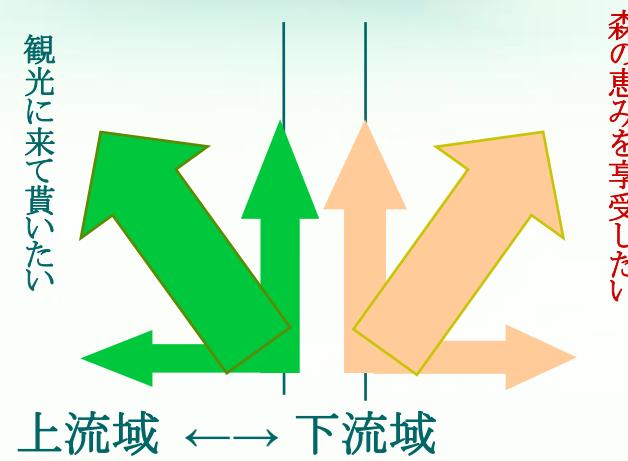
誰が何を担うとよいか



産官連携の力タチ

連携＝”つきあい“では続かない

- ・それぞれの主目的と
- ・協力するという目的と



$$V(1,2) > V(1) + V(2), V(1) > 0, V(2) > 0$$

おわりに

求められる社会のビジョン



時間軸上の議論から機器更新

太陽光パネル？